

2026年度 QCサークル石川地区フレッシュ研修会

金沢会場：2026年5月15日(金) 金沢市ものづくり会館

小松会場①：2026年6月5日(金) 小松市民センター

小松会場②：2026年6月26日(金) 小松市民センター

参加企業一覧

今年度は3会場での開催！！合計201名と多くの方にご参加いただきました

幹事	㈱明石合銅	幹事	㈱共和工業所	一般	伸晃化学㈱	会員	㈱T・T・O	会員	P F Uテクノワイズ㈱
幹事	㈱石川製作所	幹事	共和産業㈱	幹事	大京㈱	幹事	東亜電機工業㈱	会員	㈱室戸鉄工所
幹事	㈱板尾鉄工所	会員	クマリフト㈱	会員	大同工業㈱	会員	㈱東振精機	会員	森康㈱
会員	㈱内村	会員	㈱小松村田製作所	会員	ダイワ㈱	会員	㈱東振テクニカル	※五十音順(敬称略)	
会員	EIZO㈱	幹事	㈱コマテック	幹事	高松機械工業㈱	幹事	東和㈱		
一般	㈱N T N能登製作所	幹事	コマニ㈱	幹事	㈱タミ・イー・エクス	会員	土肥研磨工業㈱		
会員	かがつ㈱	幹事	㈱三光製作所	会員	津田駒工業㈱	幹事	長津工業㈱		
幹事	㈱金沢村田製作所	会員	ジェイ・バス㈱	会員	DIC㈱ 北陸工場	会員	日研トータルソーシング㈱		

参加企業35社 参加者201名(金沢会場・小松会場の合計)

研修内容

講義①QCサークルとは・講義②QCストーリーとQC七つ道具について・講義演習③データの取り方・まとめ方
グループ活動(テーマ選定・現状把握・目標設定・要因解析・対策立案)、成果発表・意見交換

開催会場

金沢ものづくり会館



小松市民センター



データの取り方・まとめ方

テーマを決め、そのデータ収集を実際に行い、結果をグラフ化し発表します！
参加者同士、和気藹々とデータ収集、自己紹介も実施し、アイスブレイク！！



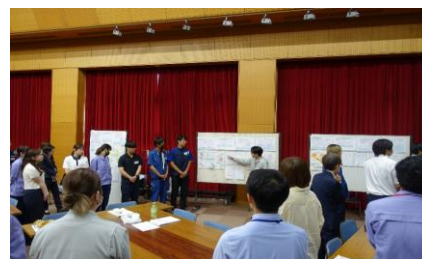
体験学習

グループで役割分担をし、全員参加でQCストーリーを体験します
皆で目標達成を目指してブレインストーミングを実施し問題解決をします



成果発表

班でまとめ上げた成果を発表し、参加者みんなで共有する時間です
QCストーリーの各ステップごとに説明し、過程から結果までを発表します



☆グループ写真☆

金沢1班



小松①1班



小松①9班



小松②5班



金沢2班



小松①2班



小松①10



小松②6班



金沢3班



小松①3班



小松①11



小松②7班



金沢4班



小松①4班



小松①12



小松②8班



金沢5班



小松①5班



小松②1班



小松②9班



金沢6班



小松①6班



小松②2班



金沢7班



小松①7班



小松②3班



金沢8班



小松①8班



小松②4班



☆グループの一言（感想）☆ ①良かった点②苦労した点③今後の方針

【金沢1班】

- ①スムーズに進んだ
迷ったときに的確なアドバイスをもらった
意見を出し合えた
それぞれの役割を果たし、協力できた。
- ②特性要因図の作成
物事を難しく考えすぎた
手書きでのグラフ作成
- ③誰でも出来るような対策を考えて標準化

【金沢2班】

- ①お互いの意見を尊重しあえた
対策の方法、要因解析の方法を学べた
- ②意見がまとまらず時間が掛かった
話に参加できない時間があつた
- ③グラフ化してデータの整理をすることの重要性を
理解できた
今回学んだことを活かしてスムーズにQC活

【金沢3班】

- ①全体の意見を踏まえてスムーズに話が出来た
他の人と意見交換が出来て良かった
効率よく進められた
- ②三元主義に基づいた問題の客観視が難しい
特性要因図での皆の意見をまとめることが難しかった
簡単に資料をまとめることが難しかった
- ③この研修会で学んだことを会社のQCサークル

【金沢4班】

- ①グラフから読み取る力が身に付いた
数字を基にデータの説明が出来た
グループで意見交換をしっかりと出来た
- ②特性要因図の作成に苦労した
逆算して考えることに苦労した

【金沢5班】

- ①普段考えないことを考え想像を膨らませることが出来た
特性要因図をまとめることが難しく感じたが、
何人かで分かれてまとめることが出来た
- ②特性要因図を作成する際の深堀が難しく
感じた
重要要因検証の判断が難しく感じた
- ③特性要因図を使用すれば自社のグループの
問題解決に役立つかなと思った

【金沢6班】

- ①メンバー全員で協力して活動出来た
いろいろな図やぐらふについて知ることが出来た
②アドバイスをなかなか理解できず時間
がかかった
特性要因図をまとめることが大変だった
- ③自社でのQCサークル活動の際に今回学んだ

【金沢7班】

- ①話し合いがうまく行きみんなで多くの意見を出せた
- ②1.2.3次手段を考えることと重要要因
- ③2.3次で出てくるアイデアが振らないように
重要要因のネガが似ないようにすること

【金沢8班】

- ①皆で意見を出し合えた
どういった風にQC活動を進めてゆけばいいかの
イメージが出来た。
- ②特性要因図を作成するときの必要情報が
少なかった。

【小松①1班】

- ①全員が積極的に意見を出せた
- ②特性要因図の中骨を決めることが難しかった
対策の立案で効果やコストを踏まえた対策を
考えることが難しかった
- ③特性要因図で中骨を決めることが重要と
分かったので、これかなれるように頑張る

【小松①2班】

- ①具体的な例を用いてQC活動に取り組み
た
- ②特性要因図を作成する際、結果に対して
の要因の設定に苦労した
- ③学んだことを自社に持ち帰り共有し改善

【小松①3班】

- ①グループで話し合うことで様々な視線から
意見が出せた
QC活動について改めて考えるきっかけとなつた
- ②実線で学ぶことが出来て良かった
- ②特性要因図の深堀が難しかった
時間管理がうまくいかなかった
グラフからの読み取りがうまくできなかった
- ③話し合いを大事にして業務改善に取り組み
たい

【小松①4班】

- ①みんな平等に発言出来た
みんなで色々アイデアや意見を出し合えた
- ②特性要因図の時、皆の意見をまとめること
が大変だった

【小松①5班】

- ①全員案が出せた
- ②案を考えることが難しかった
- ③学んだ内容を自社で情報共有する

【小松①6班】

- ①自分だけでは考えつかない意見を知ることが
出来た
時間内にきちんと完了できた
バラバラな意見をつつまとめることが出来た
- ②難しい問題の意見が出辛かった
特性要因図のまとめが難しかった
慣れないことが多かった
- ③学んだことを社内で共有する

【小松①7班】

- ①案をたくさん出すことが出来た
図や票の書き方、見方を学べてよかった
- ②特性要因図を書くことが難しかった
対策を考えることが難しかった
- ③自社でのQCサークルで活用する

【小松①8班】

- ①グラフの読み取り方が分かった
4Mの解析方法が理解できた
グラフや数字を使って説明する方が伝えやす
いことが分かった
- ②特性要因図が難しかった
- ③自社での活動でも全員で意見を出せる

【小松①9班】

- ①実習の回数を重ねるごとに意見を多く出せ
るようになった
QCの一通りの流れを理解できてよかった
特性要因図で多くの意見を出せた
- ②なぜなぜ分析が難しかった
対策の立案をすることが難しかった

【小松①10班】

- ①数字やデータを見て現状把握がしっかり出
来て特性要因図がしっかりしたものになってよ
かった
対策の立案がたくさん出てよかった
個々の協調性が良かった
- ②円グラフの作成に苦労した

【小松①11班】

- ①全員が積極的に参加できた
QCについて少し理解できるようになった
意見が飛び交っていた
- ②特性要因図が難しかった
データが少なく難しかった
- ③学んだことを自社でも活かしていく
問題が発生した場合は特性要因図を作っ

【小松①12班】

- ①一人一人が意見を主張することができ、そ
れに対してみんなで考えることが出来た
- ②特性要因図の分布が難しかった
- ③会社でミスがあった場合、QC七つ道具を
使用して解決していきます

【小松②1班】

- ①リーダーを主軸にチームワークが良かった
要因を多く出すことが出来た
- ②特性要因の落とし込みで苦労した
営業マンの人数を増やす二次手段の考察
に苦労した

【小松②2班】

- ①QC活動の流れを理解することが出来て良
かった
色々な意見を出し合うことが出来て良かった
様々な意見を見ることで自分では出せない
意見があることを知ることが出来た
頭の柔軟性が上がった
- ②データや情報だけを頼りにQC活動を行うこと
は
すごく大変だと感じた
現場の様子がわからないのでイメージがつか
ない
大変だと感じた
- ③自社のQC活動に参加した際は学んだグラフ

【小松②3班】

- ①意見が活発に出た
- ②なぜなぜ分析のつながりを見つけることが難
しかった

【小松②4班】

- ①チーム全体が意見を出せた
QCを学べた
スムーズに進めることが出来た
- ②特性要因図の各要因の振り分け
- ③QC活動に積極的に取り組む

【小松②5班】

- ①時間管理を完璧に出来た
意見がたくさん出た
笑顔が多く雰囲気が良かった
- ②意見の集約が難しかった
- ③QC七つ道具を取り入れたい

【小松②6班】

- ①特性要因図作成の時にたくさん意見を出せた
意見を否定する人がいなかった
みんなでディスカッション出来た
いろいろな方とお話が出来た
みんながしっかりと意見を出せた
- ②難しい課題の時に自分から意見を出せなかつ
た
時間配分がうまくできなかった
意見の聞き方が難しかった
- ③話し合いの時に周りの人を尊重して自分の意
見を
を言うようになりたい

【小松②7班】

- ①活発な話し合いが出来た
他の人の意見を否定することがなかった
時間に余裕を持って話し合えた
- ②特性要因図の話し合いや考えることが難
しかった
- ③学んだことを今後のQC活動につなげる
QC検定3級を取得する

【小松②8班】

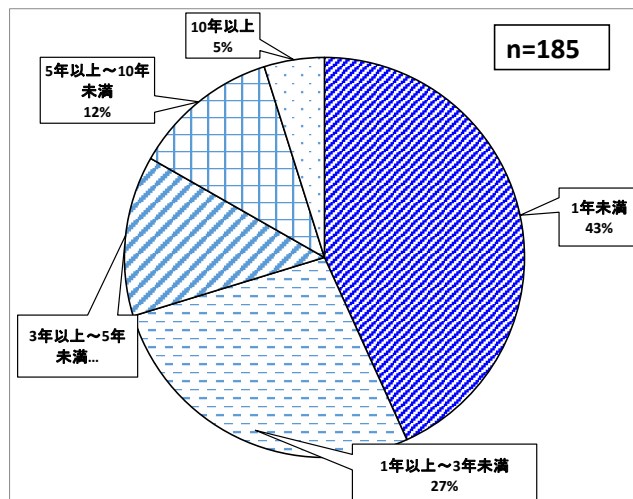
- ①色んな人とコミュニケーションを取れるよう
になった
積極的に意見を出せて活発なグループワ
ークが出来た
みんなで楽しく明るいグループになった
- ②特性要因図の作成
系統マトリックス図の作成

【小松②9班】

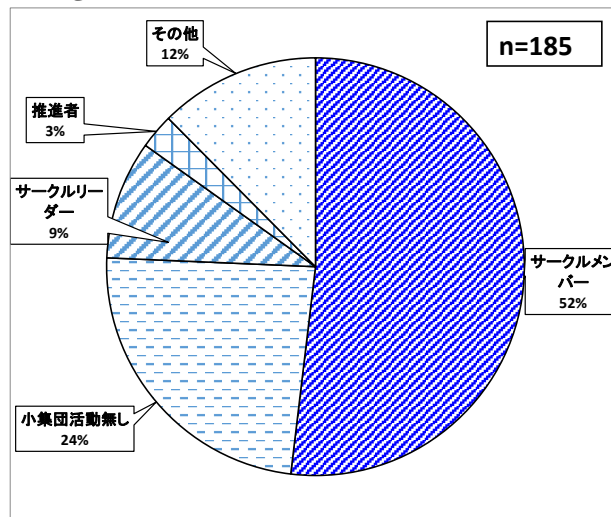
- ①初めて学ぶことが多かった
グラフの使い方などを詳しく知ることが出来
た
リーダーのおかげでスムーズに話し合いが進
んだ
- ②1つしか意見が出ない時があった
世話人の力を借りてしまった
特性要因図の結びつけが難しかった

☆参加者情報☆

勤続年数



QCサークル活動における職場での立場



意見・要望・感想

- ・グラフや、表を用いる時時と場合によって用途を使い分ける大切さと見やすさ、伝えやすさを知ることができた。
- ・QC活動において、ケースによってどのグラフを利用すれば良いのか、分かりやすかった
- ・グラフの読み方を知ることができた。グラフを読み取りまとめ方も知れた。
- ・図の書き方、表の書き方を学ぶことができたので良かったです
- ・実際にQCサークル活動をしてデータの活用の重要性を学べた。
- ・実際にQCストーリーの流れに沿ってグループで活動出来たことでQCに対する理解が深まった。
- ・QCサークルの活動に初めて参加し、1日かけてより深く問題解決に対して理解できることができてとても参考になったと感じます。
- ・QC7つ道具がとても今後の活動として参考になりました。
- ・特性要因図について自社で小集団活動を行う際にも使用するがいまいちよくわからなかったが今回の研修で理解できた。
- ・QCのサークル活動の進め方や注意事項を詳細に聞いたことは大変参考になりました。
- ・なぜなぜ分析は職場での問題解決に活かそうだと思いました
- ・特性要因図や系統図の作成方法が難しかったです。
- ・特性要因図の意見集約と発展が難しかった。もっと時間が欲しかった。
- ・QCに関する体験的なものがあったりすれば、より一層身近に感じる事が出来るかなと思いました。

★まとめ★

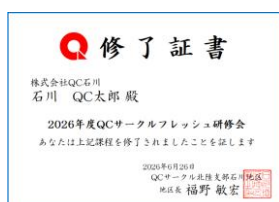
QC幹事会石川地区主催「2026年度フレッシュ研修会」にご参加いただき、誠にありがとうございました。

本研修会では、QCの基礎知識からQCストーリーの実践的な活用方法まで学んでいただくとともに、普段なかなか交流する機会のない他企業の皆様とのコミュニケーションやブレインストーミングを体験していただきました。参加者の皆様からは、「参加してよかった」という

嬉しいお声を多数いただいております。

今回の研修で得られた学びや気づきが、今後の業務やQCサークル活動に活かされ、

皆様のさらなる成長と活躍につながれば幸いです。



参加者の皆さまには
修了証書をお渡ししております。



QCサークル
石川地区

